

国立大学法人業務支援サービス

会計監査業務およびアドバイザリーサービス

pwc

国立大学法人を取り巻く環境

国立大学法人は、基本理念やその実現のための目標を明らかにし、中期計画を策定し、その実現のための目標を明らかにした上で、年度ごとの計画を策定して評価を行っています。これらの活動の結果、多くのステークホルダーのための大学運営の実施、教育・研究・診療の活性化や資源を有効活用し、互いの強みを生かす大学間連携の推進などを求められています。

特に、①本来の使命である教育研究力の強化、②改革を進めていくための国立大学法人内部のガバナンスの強化、③財務面での自立性を高めるための財務基盤の強化につき、個々の国立大学法人において積極的な取り組みが求められていると共に、将来的には各大学の強み・特色を最大限に生かし、自ら改善・発展する仕組みを構築することにより、持続的な競争力を持ち、高い付加価値を生み出す国立大学となることが期待されています。

PwC(あらた監査法人)が提供する業務

私たちは、これまで民間企業に提供してきた会計監査業務をはじめ、経営管理体制の構築や組織再編支援の経験を生かし、国立大学法人のさまざまな要望に応える支援を提供します。

会計監査業務

法律により、すべての国立大学法人は会計監査人の監査の対象となります。各大学の自主性・自立性に配慮された設計となっている国立大学法人制度の特徴を十分に踏まえた上で、個々の国立大学法人の自立的運営方針などの特性に応じた効果的かつ効率的な会計監査サービスを提供します。

アドバイザリー・サービス業務

国立大学法人の要請に応じて、下記のようなアドバイザリーサービス業務を提供します。

- 内部統制、内部監査制度の構築支援
- コンプライアンス対応支援
- 評価制度の構築と導入支援
- 附属病院医事会計管理支援
- 産学連携支援サービス
- 知的財産管理制度の構築支援
- システム導入支援
- 管理会計制度の構築支援

高品質な会計監査業務の提供

私たちは「卓越したサービスを提供するプロフェッショナル集団」の理念の下、高品質な会計監査業務を通じてクライアントのニーズに応える業務体制を構築し、業務を遂行しています。

品質管理体制

わが国の品質管理基準はもとより、ISQC1(国際品質管理基準)に沿った品質管理体制を構築しています。

監事との連携

監査計画時、期中監査時、期末監査時に、監事に対して会計監査人の職務遂行に関する事項を通知します。

監査手法・業務内容

国際監査基準に準拠し、リスクアプローチの採用、年間コミュニケーション計画の策定、CAAT(コンピュータ利用監査技法)の実施、電子監査調書システム(Aura)の利用により高品質かつ効果的、効率的な会計監査業務サービスを提供します。

【会計監査業務の流れ】

-
- Step 1 国立大学法人の事業理解
 - Step 2 トップダウン型のリスクアプローチの実践
 - Step 3 内部統制整備・運用状況の評価
 - Step 4 実証的分析的手順および詳細テストの実施
 - Step 5 非経常的・恣意性のある項目の検証
 - Step 6 意見表明および改善提案の提示

お問い合わせ先

あらた監査法人

〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル

仲澤 孝宏 パブリックセクター パートナー
080-3158-6591
takahiro.nakazawa@jp.pwc.com